

16/4/28 名古屋市議会経済水道委員会

名古屋市民オンブズマンメモ

参考人

竹中工務店名古屋支店 総括代理人 谷村和彦  
竹中工務店名古屋支店 管理技術者 相川俊英  
竹中工務店名古屋支店 主任技術者 尾関昭之介  
中部大学名誉教授 片岡靖夫 5年前に天守閣を調査した  
川地建築設計室 主宰 中部大学 非常勤講師 川地正数  
名古屋工業大学大学院 教授 麓和善 建築専門

鎌倉委員：1) 総事業費 20ページ 最大で505億円 これ以上はかからないのか

竹中・谷村：基本コンセプト1ページ3

可能性を見込んだもの 505億円を超えないように考えている

鎌倉委員：縮減案 下がっていくということによいか

竹中・谷村：縮減案も提案 縮減できるのならその方向で

鎌倉委員：2) 熊本地震 名古屋城耐震が心配

56ページ 現段階での耐震調査の結果は把握しているか

竹中・谷村：一部把握している

鎌倉委員：熊本城被災 1-2.2-2

竹中・相川：天守閣上部構造の耐震でよいか。耐震促進法で耐震診断。

熊本城と名古屋城は診断。

熊本城の診断 劣っているという情報。今回のような

石垣について調査 知見 文化庁の方で考える。

鎌倉委員：名古屋城も危ないと思っている

熊本城より名古屋城は悪いのか？質問を変える。今のままでは危ないと思っている。

3) スケジュール タイト

文化庁との交渉 スケジュール見直し案

基本設計をやらないといけない パラレルで

着工すればスケジュール通りでできるのか

竹中・谷村：ご認識通り

鎌倉委員：着工すればできるということ。

もう一点 熊本地震 広島大学三浦教授が「熊本城は資料が残っており

費用対効果の点から木造のほうがよい」と発言。片岡教授、コメントは？

片岡：鉄筋 木造 どちらが安全かどうか 具体的に精査しないとわからない。

大規模木造建築 建築基準法で認められるようになった

現在要求されている耐震基準を満たせる

5年前に解析した。安全性の高い従来の天守閣復元

宝暦の修理に修理 耐震性の高い天守閣にすることが可能。

様式を変更しないで可能。

実測図 世界に類を見ない資料 ほぼ正確に復元できる  
建設会社が精査して検討した

西山委員：提案書5ページ 克服すべき課題

調達困難な木材 調達コストが高騰する可能性  
今後消費税増税、熊本地震復興、オリンピック公共事業  
資材・人の需要高騰の可能性 どういうご認識か

竹中・谷村 木材 59ページ 提案をしている。

無理に探すと高くなる。代替案を提案。国産材が高騰の場合は外国産も視野。  
労務 オリンピック専門業者とは違う伝統建築  
熊本の件はいつから復興するかわからない  
スケジュール管理をする中で高騰せずにと考えている

西山委員：熊本地震 文化財がたくさん壊れた。同じ種類の職人が必要になってくるのでは。

東日本大震災 一斉に復興 資材・人が足りず 工事が遅れた。  
麓教授に聞く。 建築基準法適用除外。文化財の建物？ 観光の目玉？  
入場者数年間 400万人を超える。建築基準法との矛盾はないのか？

麓：文化財と言えども活用するためには安全でないといけない。

適用除外なら何をやってもいいわけではない。  
建築基準法、消防法、さまざまな法規  
史実に忠実プラスアルファ。

西山委員：適用除外は基準がない。

建築審査会の「不確定なもの」  
実施設計完成前に解体工事。 今年の10月解体、木造復元 文化庁から得る。  
麓先生の経験で同様のことがあるのか。

麓：一般的に文化庁ハードルが高い。名古屋市が文化庁と交渉して提案する。

今の時点で10月までに可能かどうかは私は言えない。

西山委員：文化庁との協議で超えないといけない。

現天守閣 文化的な価値。戦後復興のシンボル。歴史的建造物としてはどうか。

麓：両方 鉄筋コンクリート 昭和30年代 外観を復元した。それを保存する価値もある。  
木造復元の案もある。考え方の違い。どちらがよいというのは言えない。

西山委員：現天守閣 名古屋市40年しか持たないと判断。

コンクリートの劣化調査はしていない。  
市本庁舎 83年 あと数十年しか持たないとは言わない。  
長寿命化はできるのではないか。

麓：鉄筋コンクリートで文化財が増えている。

文化財となった場合は半永久的に残そうとする。  
寿命が40年、絶対に持たない、というものではない。

西山委員：大切に残すということであればそのまま残る。

木造が議論の中心となっている。  
「いずれは木造復元」 現天守閣 耐震改修についても提案いただく  
熊本城を踏まえてできるのでは。

優秀提案を両方比べるのはよいのでは

麓：私には答えにくい。名古屋市としてどう考えるかが重要。

西山委員：市民の意見が反映したもの。

麓教授「城全体をどう見せるかが重要」。存在しているものを人の手で壊すのか。  
ないものを復元する、全体の魅力が高まるのでは。

田辺委員：忙しい中参考人に来ていただいた。優秀提案について聞くため。

全体整備についての意見交換ではない。

現天守についての意見を聞くものではない。

別の有識者に行っていたら聞いてほしい。

鹿島委員長：そのとおり。

佐藤委員：実測図に忠実の中で法規を守らないといけない大変。

麓先生に聞きたい 優秀提案についてどうか

麓：選ばれたので優秀だと思うが、細部を詰めないといけない点が多い。

工法を他の天守でためすなど。

佐藤委員：「工期は守る」文化庁に行って聞いたが、さまざまな部分で規制がある。

文化庁の許可が得られるのかどうか。竹中さんに聞きたい。

竹中・谷村：自発的に基本設計をフルパワーで進めている。

許可が得られると思っている。

佐藤委員：なかなかハードルが高いと思っている。努力するということ。

日比委員：505億円上限。どういうことが考えられるのか。

文化庁も不確定要素が高い。許可が下りなかった場合工期が遅れるのではないかと懸念。  
費用負担に入っているのか。

竹中・谷村：許可されるものとして2020年までに完成するよう組んでいる。

日比委員：文化庁下りないという想定はしていないのか。

竹中・谷村：許可されるものとして2020年までに完成するよう組んでいる。

日比委員：議会はあらゆることを想定して議論しなければいけない。

許可が下りるものとして505億円。

厳しい日程と認識。文化庁の許可は名古屋市がやるべきこと。

名古屋市の交渉の結果、想定から外れた場合想定していないのなら価格が上がるのか

竹中・谷村：文化庁の許可に応じて交渉 505億円を上回らないように努力する。

日比委員：工期が延びるのはコスト増の要因になりうるのか。

竹中・谷村：建設コストは工期だけで決まるのではない。

協議をさせていただく。

日比委員：木材調達 満足させるため 木材の価格変動

木材が高騰、たくさんの人件費 工期が延びる

仮設の事務所を設ける 1カ月延びれば人件費も余計かかる

質の高い木材を調達想定→木材の質を落とすことを想定しているのか

竹中・谷村：高騰しないよう調達手法 ある国産材に特定しない。外材も検討。

中身を精査して提案している。

日比委員：木材だけの変動

さまざまな価格が変動する中どう吸収するか

竹中・谷村：今の提案 良い変動もある。協力してくれる人も現れるのではないかな。

日比委員：選考にかかわった人に聞きたい。

熊本地震 名古屋城を守っていくという視点 石垣が重要。

西南隅櫓オリジナルで残っている。

熊本地震 石垣が崩れ、オリジナル櫓が崩れた。

現状のものを守った上で天守閣を守るのは

優先順位について

麓：今指定されている文化財を保存するのが大事。

石垣と建造物。担当範疇が変わっている。

名古屋城は特別史跡。西南隅櫓は建造物担当。

建造物は耐震診断。

緊急性の高かったものとして西南隅櫓を修理した。

石垣も修理し続けている。

名古屋城全体をどうするのか。天守、焼失したものをどうするのが課題に。

日比委員：木造復元 2020年7月厳しい期限。

耐震をやるのか木造復元 2020年7月は重い足かせ。

石垣は後にして先に天守閣を建てる

清水建設「石垣から組み直さないといけない。工期が間に合わない」

2020年7月を選考委員はどう思っているのか。

木造復元は価値があるのは認識しているが、コストも工期も工程も適切に時間をかけて考える余地があるのではないかな。

片岡：各社提案はかなりタイトということは認識。

精査するとゆとりが生まれる可能性。

下から順番に作っていくのは基本。1層と2層が外れる。

通し柱が走っている。

各層同時進行させるようなことを検討されていると思う。

個人的に思っている。安定性の高い構築方法。

川地：2社提案があるまで2020年7月はかなり厳しいと理解していた。

いろんなハードルを越える中、技術的にはできる。

工程表を見る中で技術的にできると理解。

IT化 史実に忠実に相反するところがあるかもしれないが、IT化は反しない。

バーチャル施工 3次元で施工する前から検討して工事していく。

麓：石垣を修理して木造天守を作るのが素直な考え。

前提が「石垣は後」 工期も提示されている。

名古屋市が条件を提示したうえで「ゼネコンが可能」

できるできないは言いにくい。

日比委員：バーチャルよりアナログで。熊本地震 石垣から崩れているのを見ると、

しっかりした石垣を積んでからのほうがよいのでは。

竹中にもご無理を言っているのではないかな。

工期が許すのであれば石垣から積み直した方がよいのか？

竹中・谷村：名古屋市「天守閣整備と同時に石垣整備」意気込みを感じられた。

木造復元を選考ではなく、同時に石垣整備。

石垣整備の費用も提示した。

2つの工事をうまくアレンジしている。

佐藤委員：史実に忠実なもの

文化庁との話 木材の調達 使用する木材の選定 「文化庁はこの木材を使うから許可する」  
本丸御殿の事例。

木材調達は竹中の方で行うのか？

竹中・谷村：当然木材については文化庁・有識者からご指導があると認識している。

佐藤委員：工期的には苦しくなるのではないかと担保できているのか

竹中・谷村：今はそう考えている。

佐藤委員：確認させていただいた。

岡田委員：河村市長「木造化をしたい」 稼げる街にする。2020年オリンピックに間に合うようにする。

入場者数をいかに増やすかがネック。

竹中に聞きたい。1ページ認識 正直に書いてある。「10-20年はかかると認識。2020年は不可能に近いと認識」

建築基準法の例外規定 頭絞られたと思う。

リスクがあると思う。一番大変なリスクは何か？

竹中・相川：厳しいスケジュールと認識。情報がある。実測図、有識者研究、

史実に忠実な具現化を考えている。不特定多数 安全性 現行耐震基準以上の耐震性。

消防法、安全設備。大きな課題。勘案すれば十分達成できる。

川地先生からお話の通り、現代技術を駆使して復元したい。

岡田委員：IT、現代だからできること。

建築基準法 人間が住む。安全なもの。今回は適用除外。

文化的に価値が高い、観光施設にしての名古屋城天守閣。

バリアフリー「仮設」

エレベーター4人乗り。

文化的価値 市民も多い。観光施設として確実に増やして維持しないといけない。

整合性はどうか判断されたか。

建築基準法の適用外と言うことは「建築物であってはいけない」を除外

両方やるのはどういう認識か。

川地：建築基準法3条「除外」 提案書 免除されるからというのは最低基準。

ゼネコン提案 それ以上のものを提案している。

免除されるから緩和されるものではない。

観光施設 大勢の人数 史実に忠実なもの、安全性と調整していく。これからのテーマ

エレベータは必ずしもつけなくてもよい。階段を見直す。

人数制限をすることで解決するのでは。

片岡：重要な質問 全世界の文化財建造物で頭を悩ましている。

バルセロナ大聖堂 最近内部が出来上がって、エレベータは数名しか乗れない。

身体的弱者。物は持ち込めない。

イエメン 高度なホテルは空港と同じセキュリティチェックを設けている。

そういうように知恵を絞っている。

日本はそこまで考えていない。

テロまで考えないといけないが、安全対策は必要。

エレベーターも最小限に。

名古屋が世界の見本になるように。

麓：史跡に新しく復元に限らず、建造物の修理も同様。

文化財の保存、史実に忠実は最優先。 国指定なら税金を使う。

せっかく高いお金をかけても活用できなければだめ。

なるべく表面に出てこない、文化的価値を下げない。

バランスを取っていくか。

うまく活用のため取り入れていくか。

岩本委員：スケジュールが一番気になる。金額 施工条件が変われば。

「石垣が大事」。施工条件として熊本の話。

今後石垣 文化庁調査 新たな基準、超えていかないといけないハードル。

竹中はどう考えるか。

竹中・谷村：地震で石垣が崩れた事例 福島の例がある。

文化庁の指導で復元が行われた。

熊本 どう文化庁の判断がでるか

史実に忠実な積み直しが方針だと思っている。

岩本委員：スケジュールは極めてタイト。

われわれは 2020 年に反対しているものではない。

一つでもストップした場合ずれていってしまうことを危惧している。

田辺委員：参考人には来ていただいて感謝している。

特に有識者には研究を重ねられている。

片岡参考人「複数回を同時進行で作って積み上げ、ゆとりが生まれるのではないか」

正確な復元 詳細はこれから詰めていく

川地参考人「ITを活用すればできる」

エレベーターはいらない、そこを考えていくという意見

工期が重要。費用の面 名古屋市平成 26 年調査とかい離があまりに大きい。

2020 年に切ったためと理解している。

費用にどの程度の影響が出たのか。

竹中・谷村：22 ページ 差分を提示。名古屋城内の整備。新たな施工条件が入っている。

解体時見れない。

工期が長くなれば経費がかかっていく。適正工期だといくら、というのは出していない。

田辺委員：名古屋市試算節あり外材 321 億円。505 億円とのかい離が激しい。

竹中見積もりに問題があると言っているわけではなく、施主名古屋市。

当初当局が出してきたもの 18 年に比べて高くなっているのを説明しないといけない。

竹中・谷村：さまざまな条件の精査でこれだけのものを出してきた。

工期だけのものではない。

田辺委員：我々も責任を果たす立場がある。

本丸御殿の時も着工後もめた。

文化庁との交渉は名古屋市がやること。

さまざま意見の分かれるものを調整していく予定を持てるのか。

竹中・谷村：調整はします。

田辺委員：最優秀提案でしかない。名古屋市と契約したわけではない。

話をしながら名古屋市としての成案を作っていく。

6月定例会 設計の予算

基本設計を自主的にやっていたらと聞いている。

スケジュールが

工期・竣工期限にはどう影響があるか

竹中・谷村 6月議会で承認されると想定している。

延びた場合、施工条件の変更があるが、市と相談したい。

田辺委員：それを聞いて安心しました。

基本設計の承認の前にエレベーター壊すと提案。

2020年に間に合わない場合、すべてリセットという話があった。

最終的認可が出なかった場合、いったん契約がなくなる

エレベーターは直さないといけない。という認識

竹中・谷村：現状のRC天守を解体して木造の天守を作る。

石垣など天守閣整備をする

当然現天守を解体するのが条件。

田辺委員：2020年に間に合わない場合、契約がなくなる

竹中・谷村：それは協議

田辺委員：当局は一度リセットすると明確にしている。

見解の相違がある。当局にあとで確認する。

有識者 当初の案では工程変更 4/22 委員会

全体計画 基本設計も短く

この見直し工程 外れているものなのか？

変わってしまっているが

片岡：審査会 工程変更まで検討はしていないという認識。

田辺委員：選定をされているものと違うもので進めようとしている。

大きく影響が出るものではないという認識か。

片岡：選定の条件に入っていなかった。

これからの議論になる。

斉藤委員：石垣の中身。24メートルケーソン4本の状況が分からない。

新たに支持層まで入れていく。

石垣ふくらみが弱い。上部をさわられる。

石垣の外部に出てくることはないのか。

片岡：当時のケーソンの資料はある。影響があるか

石垣とは独立したものと設計されている。

熊本城石垣崩壊と天守閣の問題は併せて考えると混乱する。

別物と考えた方がよい。

弘前城 引きやをして石垣を直す。2年か3年かかる。

当初の約束と違うのではないか。

斉藤委員：木造模型 市民討論会ではずして衝撃を受けた。

石垣 文化庁の見解は重要視。内部を削ったり三角フレーム工法

56 ページ 石垣の中身も遺構 非常に文化庁の理解が得られるか疑問。

麓：文化庁 現存する石垣を重視 新たに打ち込むのは認められにくい。

ケーソンは残さざるを得ない。

斉藤委員：木材調達には竹中に秀でるものはない。

天守閣は素晴らしい提案。

国5月10月復元検討委員会。 コンクリートをケーソンに載せるのが文化庁の理解が得られるのか。

他の工法を考えているのか。

竹中・谷村：提案は、現状SRC基礎を有効活用して、

木造復元のためのRC基礎を作る ご心配はクリアできる。

斉藤委員：石垣内部もこだわってくるのではないか。

RC底板をつけて、石垣内部は削らないのか？

竹中・谷村：削る部分は昭和34年に工事をされたものと認識。

斉藤委員：昭和34年部分だけを削ると理解した。

いろいろ制約がある。エレベーター付ける。

安心・安全が大事。

火事 避難コアの在り方。見られるような形。

耐火ガラスは見られるのか

竹中・相川：一つの提案 建築基準法3条

階段があることがあることを見せるようにしている。

防火壁で仕切られた階段。関係諸官庁と相談して。

斉藤委員：閉まる壁。手すりができるのと閉まらない。空間ができる？

竹中・尾関：55 ページ パース ユニバーサル手すり 各地の城でついている。

水平引き戸が閉まらないのでは？ 1本梁を付加して

上下2枚にするか。今後の技術開発。

煙は火災報知機と連動して。

斉藤委員：ふさいでいく。今後市と竹中と有識者と考えていく。安心した。

安全は切っても切れないもの。

避難コアの取り方。文化財を目指すなら率直に意見を。

透明なのは違和感を覚えた。

川地：私の持論 エレベーターもやめたい。名古屋城 床面積は日本1.

地下から3階まで階段が2か所ある。



階段の幅が広い。

耐火ガラスのコアはやめたい。

3階から4階は

4階から5階は手すりですり上下する。

4階から下は2か所の階段で。IT化 防災シミュレーション。

事前に検討できる。

煙のシミュレーション。

斉藤委員：外付けエレベーター 後付けだから近代的にしつらえだと認識。

今後避難計画 バリアフリー法

避難コアについても3-4階もう1つ階段設けられるという提案。

仕様が変わってくる。

若干の変更をかけていくという理解でよいか。

伊神委員：田辺委員の確認。29ページ。

仮設工事など 「文化庁協議にかかわらず、議会は承認してほしい」

6月提案 考えないといけない。「見直してやっていく」

前提条件はどこまで前提条件なのか。

文化庁の許可を得られなくても市民に説明しないといけない。

半年遅れたらだめ

505億 予算

一般の公共事業とは違う。

前提としているのか。

「議会黙ってついてこい」見識を聞きたい

竹中・谷村：そういうわけではない。議会で判断していただく。

文化庁も一括ではないと認識している。

伊神委員：提案書には書いてある。

優秀提案にされたことに違和感を覚える。

日比委員：最後に思いがあればご示唆を。

竹中・谷村：弊社は名古屋城に歴史的にかかわってきた。

13時30分

田辺委員：1ページ 差額 木工事 比較とするとどうなるか

渡辺主幹 188億 参考額 220億 節なし

田辺委員：188億は節あり 外材

渡辺主幹：188億 節についてよりは国産材

大天守閣5階木材 観光の目玉 最高品の木材

田辺委員：標準工期 比較

2020年が高コスト高を招いているか説明責任がある。

渡辺主幹：工期を短縮した場合 通常の場合

通常の場合条件設定調査調整がある。一概に出ない。

田辺委員：今ある数字の中で説明するしかない。

素屋根をする。その他の中身は？

渡辺主幹：46億円に素屋根が入っている。

田辺委員：505億の中で増えているもの 説明しなくていいのか。

渡辺主幹：仮設工事 北側エリア

敷地内でまかなえたらと思っていた。北側公園を使わせてもらう。

田辺委員：増額分はいくらか。

渡辺主幹：お示しできない。

田辺委員：102億、184億円から、木材置く場所、素屋根値段

渡辺主幹：公園からの仮設橋梁 約8.5億円

田辺委員：差額46億 北側8.5億 54.5億は無難な増額か

渡辺主幹：説明不足で済みません。46奥に仮設橋梁が含まれる。

田辺委員：102億-46億 工期を短縮したから

節ありの国産材 2020年に設定 138億

西野所長：参考額については昭和実測図に基づく復元。

石垣工事 竹中工務店の方が広がっている。

一概に言えない。

田辺委員：説明責任を果たしたい。いくら高くなるかはあなた方が本来示さないといけない。

市民に説明しなくてどうするの。

西野所長：参考額と単純に比較しづらい。

竹中の説明を市民に説明したい。

田辺委員：それしかできない。まずいと思う。

こんなに急いだからどれほど高くなったか。

いつまでそんなことを言っているのか。

無理な設定する以上説明責任を果たさないと。

市民に「無理じゃないですよ」説明するときに

「どれだけ高くなるの」説明できない。

真正面から受け止めないといけない。

局長：工期のみで試算していない。

今回505億の差額 工事に出てきた。

提案の内容で理解を求めていく。

田辺委員：努力をされないと局長が言い切った。

日比委員：竹中474億-505億は分かった。

局として試算はどういう位置づけか。

渡辺主幹：局として出したのが節あり321億円、節なし403億円

日比委員：2020年7月を外して試算が必要だと思う。

問い9 局として試算したものではないのか。

渡辺主幹：前提を踏まえただうえで参考額の試算。

まずは木造復元。研究費は見えない。

日比委員：問い9 1番はご提案いただいたもの。

「2020年にとらわれず」局が想定しているものが正しい情報ではないか。

2 番に事業費に記載されていないのはアンフェアではないか。

すでに 321-403 億と検討した。

説明する必要があると私は考えます。

所長：ご指摘をいただいたが、今回条件が期日だけでなくもとの前提条件が違うので単純に並べるのは困難。

日比委員：名古屋市が条件をつけて想定したらこの数字。

2020 年想定が荒唐無稽と自分で言っているようなもの。

渡辺主幹：参考額を出すにあたって条件がある。

当初参考額を出すため 今回考慮されていない。

日比委員：同じ条件で想定しないとだめではないか。

フェアなアンケートではない。

自分のところが責任を持って想定したのは説明されてきた。

説明しないのは通用しない

魅力向上部長：名古屋市として具体的数字は

2020 年木造と耐震改修の 2 つ。

前回の委員会ではその通りさせていただいた。

3 つが並ぶと委員会でされたのでその通りにした。

日比委員：「委員会で無理やり入れろと言われたので入れません」でよいか

魅力向上部長：今の段階で行政として責任を持って出せるのは 2 つだけ

日比委員：冊子で示したのはでたらめということか。

魅力向上部長：でたらめではなく、現在この段階で具体的な数字で比較

日比委員：名古屋市が木造復元をやっていくにあたり、調査した結果節あり節なしで

321-403 億で委員会に報告いただいた

魅力向上部長：報告した。

日比委員：2020 年 7 月条件を付けて検討していただいた。

名古屋市は 2020 年 7 月という条件を付けずに検討したら 321-403 億。

魅力向上部長：正確なお答えができない。

名古屋市が積算させていただいた数字を基に竹中に提示した。

日比委員：竹中には 2020 年 7 月までで積算してもらった。

名古屋市は 2020 年にとらわれず積算した。

局長：試算はした。

経済波及効果 仕様木材に幅がある 270 億円-400 億円で説明した

日比委員：きちんと想定して積み上げた数字。

建設会社にいくらでやっていただくかは別。

名古屋市は責任を持って出した数字。委員会にも報告された。

1) 竹中の数字を出した

2) 321-403 億を前提に議論した

2) に付されるべき。

局長：表現 あくまでも参考額との差額

竹中 505 億とは制度が違う

日比委員：名古屋市の数字を載せるべき。

正しい情報をもってアンケートを取るのなら、工期に縛られて提案していただいたのは事実。

工期に縛られない数字を載せないとフェアでない。出し直しを求めたい。

魅力向上部長：前提条件 各種非考慮

信頼に足る数字ではない

田辺委員：説明資料 28 ページ 3つ横並びで書いてある。

「責任に耐えうる数字ではない」経済波及効果の数字

事業費が高い方が大きくなるに決まっている。

田辺委員：今回の提案では清水建設ができないと言ってきた。

2020年までに間に合わない時は白紙に戻すと

所長：局長答弁ではアンフェアにならない形で再出発したいと答弁。

田辺委員：午前中竹中に聞いたら「あくまで協議」と発言。

答弁は承知していない。どうしてこうなったのか。

所長：

田辺委員：宮村局長答弁 竹中に伝えたいうで提案したのか

所長：答弁 プロポーザルやっている最中 工期の遅れが確実になった場合、締結をしない場合がある

相手方に確認したうではない。

田辺委員：そういうことがあるということなので、なりたくないはその通り。

いかなる場合でも議会の判断で通らなければ締結しない。

所長：契約行為になるので、契約を結ぶ際の協議。

法的専門家に相談しながら諮っていく。

田辺委員：止められなければ困ってしまう。

選択肢として止められるのか。

所長：今の指摘を含めて協議したい。

藤沢委員：大本の話 民意に忠実なのが政治

局としてそれでよいのか

局長：「民意」と言っても、市長の民意と我々の民意も異なる。

議員も民意、アンケートも民意。

藤沢委員：大金をかけてアンケートを行う。

3番 耐震改修が一番多かったとしよう。50パーセントを超えていたら民意に従うのが河村市政か。

もしそうならその理解でよいのか。

局長：はっきりと答えができない。

本会議岩本議員 はっきりと言及はしていない。

藤沢委員：局長としてはどう思うか。

局長：行政の物事を決めていくにはいろんな意見を聞いていく。

アンケートがすべてというアンケートもあるが、いろいろ勘案して決めていく。

藤沢委員：民意に従う行政は必ずしもそうでない

局長：今のロジックは民意＝アンケート

今の時点でアンケート＝民意 である認識はない

藤沢委員：アンケートは何ですか。

局長：市長の民意と局長の民意がイコールかどうかはわからない  
いろいろな場面で民意を問う。

藤沢委員：何のためにアンケートするのか。

一番少ない答えに名古屋市の考えになることもあるのか。

局長：アンケートの結果で導き出すわけではない。

いろいろな場面で意見を決めることもある。

市長の判断もある。市長の意見をうかがっていない。

藤沢委員：そんなことをいわれてもおれたちも困る

局長：

藤沢委員：参考意見 市民の意見を聞かないということも

局長：市長の思いと我々の思いが違いが違うこともままある

藤沢委員：今までの答弁は何だったんだ

局長：議論をする中で

藤沢委員：今まで答弁は議論してきたんだな

局長：民意についての議論はしていない

藤沢委員：アンケート結果については従わないことがある

局長：正直 アンケート結果についてどうするという議論の記憶がない

アンケートを実施すると前提で進めてきた

藤沢委員：なんのためのアンケート

局長：民意の一つとして 市長の民意を聞く

はっきりと聞いていない

藤沢委員：きちんと話し合いをして

アンケートについて話し合いをしてから委員会してくれ。意味がない。

あなたたちのキャッチボールではない。

市長が責任を負う。

局長：すべて委員会に臨むにあたり、責任ある答弁をする

藤沢委員：アンケートの話と違う

きちんとすり合わせをしてやらないと。いうこと聞くとも思っていない。

そうなら「なにがあるが市長としてはやりたい」と答弁すればいい。

一部をカバーしながら一部カバーしないのはおかしい

岡田委員：財源フレーム 入場者数算出根拠

基となっている数字は本丸御殿、姫路城、熊本城

当時の動向 経済事業、お城ブーム

公開するにしても独自に取り組まれた努力

将来の入場者数にあてはめた

館主幹：他都市の城を参考にした

岡田委員：単純に比較したのはどういう理由か

館主幹：天守閣大規模改修は姫路城。よく似た事例を参考にした

岡田委員：40年間の財源を見込んでいる。

木造復元される年 なぜ

館主幹：3.1 倍になった

岡田委員：根拠は

館主幹：27 年度から

26 年度 90 万人 286 万人

岡田委員：名古屋城はどうか

前年度はどうか 160 万人×3.1 倍

館主幹：それでいい

岡田委員：平成 22 年から始まった。 改修始まる前は 120 万人

92 万まで落ちる。

名古屋城 180 万人 90 万人に落とす

160 万人まで上げている

姫路城が 3.1

もともとの数字が高いのではないか。

3.1 倍 平年ベースで上げている。

館主幹：姫路城は駆け込み需要があった。その前から大体 90 万人

名古屋城は 160 万人で推移している。

岡田委員：姫路城の事例 熊本城はどうか。全体整備を進めていた。

絶対的条件が同じとはあり得ない。

36-81 年まで 360 万人を続ける

同じ入場者数があったか

館主幹：首里城 平成 12 年から 170-180 万人

熱田神宮 600 万人を超える数字

それほど増減なく

岡田委員：首里城、熱田神宮 そのものをあてはめる

必要経費から始まっていると思う。

何があってもこの通りでいくと思っているのか

館主幹：現在は 360 万人で推移すると考えている

32 年から 10% ずつ落として

名古屋城全体の魅力を高めることが重要だと考えている。

老舗街道など魅力的な企画が必要

名古屋城を軸としたプロモーションを位置付けている。

岡田委員：工夫をしないと数字が厳しい。

根拠があるか数字を出したが、「努力による」

確保できなければ 1 円も税金を入れないと約束できないか

館主幹：単年度収支をみれば赤字の都市もあると考えている。

一般会計から借り入れて、黒字になれば返す。

収支を均衡する

入場者が落ち込んだ場合は事業実施を見直す

岡田委員：入場者数が行かなかった場合、入場料上げない、税金入れないと約束できるか

館主幹：現時点では長期的に収支が合うように。

岡田委員：市債発行して、全額入場料

市民 450 円、市外 1000 円。

入場者数が予定数に行かなかった場合、税金入れないと約束できるか  
館主幹：入場料収入で返済すると想定した。

当然そういうことは条例で決めないといけない。

試算の中の数字。

岡田委員：条例で

「収支によっては入場料が上がる場合もある」どうして書かないか  
担当部長：収益を入れていこうという努力もさせていただきつつ、

1000 円を上限とするよう努力する

岡田委員：寄付金・補助金 いまだに出てきていない。

熊本の状況が変わってくる。

市民にしてはこれではしか判断することができない。

アンケートでは机上の計算 断固たる根拠があるわけではない。

人口は 2050 年には減っていくのに入場者は同じ。

説明自体はきれいに書かれているが、アンケートはやり直すべき。

室長：人口減 訪日外国人が多い。

政府の予想数字 現在 2000 万人→4000 万人→6000 万人

算出根拠はミニマムで

岡田委員：言わなくてもいいことを

魅力向上部長：名古屋市 4000 万人観光客が来ている。

4%が名古屋城を訪れている。

姫路城 10%→31.9%

外から訪れる人を増やす。

市民の方の利用率が低い。11% 18 万人が名古屋市民

人口 8%年間来ていない。

パーセンテージを増やすため、ハード整備を進める中でソフト整備を進める

岡田委員：確実に税金で効率的に必要なところに充てていくか。

海外からの数字が増えるから。海外お財布だよりでいいのか。

特殊なお金の使い方。

安全確保はよほど考えないといけない。非常に不確定。

寄付金は答えられる部分があるのか。

館主幹：現段階では見込めない。

岡田委員：5 年後、10 年後は見込めるのか。

館主幹：方向性が認められれば、当然国にも補助金交付申請をしたい。

企業にも要請したい。

岡田委員：財源フレーム 全く不確定なまま進めようとしている。

これだけ困難。無理だと思う。

鎌倉委員：7 ページ 収支計画 支出の部分。

979 億 605 億

運営管理費民間活力 大阪城などの参考

27年度実績 50万人増えている。

運営費を抑えながら入場者数が増えたのは理想的だが背景は聞いたのか。

加藤管理課長：大阪市に聞いたら、大阪の陣400年プロジェクトを行った。

コアのイベント会場でいろいろ行った。

プロモーションも相まって増えていった。

折からの大河ドラマ真田丸。

鎌倉委員：パークマネジメント事業 滑り出しは上々

対処施設 指定管理 大阪パークマネジメント 指定管理料は払わない。

運営の方も考えていかないといけない。

加藤管理課長：指定管理制度については事業を効率化する効果的な方法の一つ。

早急に大阪城モデルを検討して課題整理したい。

鎌倉委員：ぜひとも魅力発信のため検討してもらいたい

佐藤委員：入場者数の話

姫路城 海外の人が増えている 京都・奈良に来られた方がそのまま来られる

名古屋に当てはまるか疑問。

33年度 446万人来たとして稼働日は何日か。

館主幹：現時点では361日稼働しているので、同じ日数。

佐藤委員：平均1.3万人来ないとだめ。

今現在観光バス、地下鉄、動線まで想定しているのか。

一朝一夕ではない。

加藤管理課長：木造復元した場合の想定最大人数 多いときに31000人あまり。

そういうときでも入場整理券を配布する、中に入った時も収容可能を超えたら入場制限。

佐藤委員：毎週土日続かないと数字が出ない。

キャパを用意しているのか。警備員も想定しているのか。

加藤管理課長：人数が想定されるが、実施設計の際に調査して耐えうる方法を取っていきたい。

佐藤委員：駐車場の計画 道路拡張、歩道の整備

今の段階でできていなければ事故が起こるのではないか

加藤管理課長：団体客の誘致 バスの乗りつけ場所

28年4月 正門に駐車場がある。18台分、10台分 夜間の駐車も含めて進める。

所長：名城博7万人 検討していきたい。

一番大きいのは階段で上り下りしていただく。

各階段のために案内誘導員。

一時的にとめて制御する。

姫路城も整備されている。

佐藤委員：天守については休日 入場制限 何万人で想定しているのか。

加藤管理課長：姫路城 名古屋城は3万人だと想定

佐藤委員：姫路城、掛川城も行った。落下対策などいろいろある。

入場整理券が配布されていなくても最上階まで行くと怖くて降りれない。

加藤管理課長：全体の入場者数 多客時期 あらかじめアナウンスして入場者数



例えば3万人で入場整理券  
入場制御もやっていきたい。  
案内誘導を置く。

佐藤委員：熱中症対策など不安なことが多い。  
入場者数 姫路城 5年たったら減少するだろうと想定  
次の計画を立てている 姫路城でも言っていた。  
何年も360万人続くはずがない。  
自力では常識。

西山委員：1) 概要版 民間事業者からの提案 総事業費 474-505億円

裏 収支計画 単位が100万円 意味があるのか  
館主幹：収支計画は詳細に記載なので100万円単位

西山委員：見やすい形のほうがよい。単位を統一しては。

2) 先日の委員会  
耐震改修 「40年しか持たない」  
コンクリートの劣化は対応できると麓参考人も言っていた  
間違いではないか

渡辺主幹：中性化 おおむね40年くらい

西山委員：コンクリートのアルカリ化 長寿命化 優秀な提案があればその後も延びるのではないか。  
書かない方がよいのではないか。

渡辺主幹：できる限り分かっている  
今後コンクリート 対策で何をどの程度すればよいか  
何年なんだ 今の現状ではこの程度の記載

西山委員：ちゃんと調べてからアンケートを取ってはどうか。

名古屋城所長：長寿命化のお話 現在行って何年もつか明確ではない。  
踏まえて2020年7月までの木造。

29億円を踏まえてアンケートを行う。

西山委員：出すべきではないではないか

名古屋城所長：調査をしても不明確であるので

西山委員：麓参考人 長寿命化 これ以上にもっている。

名古屋城本庁舎 これ以上もっている

名古屋城所長：長寿命化すれば何年か持つ可能性がある  
はっきりしないものを取り組む意思がない

西山委員：はっきりしない

アンケートはどういう立ち位置か。

局長は民意の一つ。

コンクリート 耐震改修29億40年 長寿命化をすれば40年以上もつと書いては

名古屋城所長：長寿命化ははっきり効果が分からない

タウンミーティング 長寿命化は説明していない

西山委員：議論が続いていく。

日比委員：29億円はどのような数字か。

耐震と改修でそれぞれいくら

渡辺主幹：合わさっている。耐震 14 億 改修 15 億

外部改修一部触らないといけない、電気機械、展示

日比委員：耐震と改修はセットでなければいけないのか、  
改修しない、という方法もあるのでは。

耐震をやってから時間をかけて考えてはどうか。

渡辺主幹：耐震する場合、改修もセットでやった方がよい。

エレベーター更新なども一緒にやれば効率的。

足場をかけるなどもある。

日比委員：「早くやらないといけない」となっているが、耐震だけやった上で、  
名古屋城の在り方を話し合しましょう

耐震改修をしたうえで

100 億以上も差額が出ているのなら 一つの考え方としてあるのではないか。

土井委員：アンケート資料で確認

A 3 2 ページ まる 1 太い木材 「40 年後は極めて困難」平成 26 年調査でよいか

館主幹：その通り

土井委員：31 ページ 平成 29 年以前 年間流通量が少なく困難

本丸御殿完成後 調達は極めて困難

40 年後 調達は極めて困難

他の城閣整備が進むため×

40 年後には他の城閣 予想されているのか

渡辺主幹：40 年後想定 他の城閣の整備が進む

土井委員：大阪城など他のお城

そういった計画は実際に考えられているのはあったのか。

名古屋城所長：江戸城はNPOが検討。

土井委員：他の城閣 いつでも始まる可能性

40 年後は書く必要があるのか

耐震改修工事を否定しているように思えるが。

名古屋城所長：調査によって出たデータ 正確なものと考えている

土井委員：記載すると公平公正ではない。

マイナスのイメージを与える

館主幹：コンクリート劣化、耐震 現天守閣を早期整備するのか、耐震するのか

土井委員：どの年代でも大径木は困難

公正な情報発信ではない

館主幹：40 年後にはリスクが高まる

土井委員：復元事業費 「条件が違うのであてにならない」

他のことについても同じようなことが言える

担当部長：説明資料 13 ページ

土井委員：他の城閣の整備が予想されるので×

40 年後極めて困難はどうか。

担当部長：お城 新聞 RC構造 数少ない

木造第1号で頑張っているのは名古屋城

文化庁 今後はできる限り木造

木造は大きく出てくるのであろう

一定の推定が言えるのではないか

土井委員：見たときに公平公正ではない

斉藤委員：おもな関係法令 簡単に作られた

建築基準法適用除外、消防法

渡辺主幹：適用除外 建築基準法に合致しない

建物自体を建築可能になる。

消防法 調整に必要があれば

斉藤委員：バリアフリーはどこに

渡辺主幹：3条1項 バリアフリー法除外

斉藤委員：建築基準法の中にバリアフリー法がある。

名古屋市が建築審査会を行う。建築審査会だけでよいのか

渡辺主幹：特定行政庁が認定を出す

斉藤委員：どうすればよいのか

渡辺主幹：建築審査会だけでよい

斉藤委員：建築審査会1個OK、名古屋市がOKを出せばできるのか

渡辺主幹：同意を得るために発注者として建築、防災専門家に評価・審査をいただいでいこう

第三者に審査していただいたものを建築審査会にかける。

斉藤委員：そのような機関と情報を取りながら

2方向避難が原則。竹中提案は1方向。

本市だけでできるものではないと思う。

法律抵触する部分はバリアフリー法。エレベーターを付けない方がよいという意見もあった。

どれくらいで許認可が出るのか

渡辺主幹：それなりの審査 基本設計を踏まえて実施設計の範疇

斉藤委員：文化庁、石垣、基本設計と実施設計

全体計画といっているのか。

渡辺主幹：全体計画の許可を10月に目指している。

今後文化庁と協議。

斉藤委員：そこがおかしいのではないか。

外部エレベーターを壊したら後戻りできない。

避難行動計画も出ていない

文化庁をOKできる理由は何か。

渡辺主幹：6月予算を認めたら、安全確認を大至急する

詳細設計は検討材料

斉藤委員：詳細設計とは何を指しているのか

渡辺主幹：具体的には調整させていただく

斉藤委員：28年6月に全体計画を出そうとしている。

文化庁は通常下りない。

各局長には見せたのか。

渡辺主幹：詳細は見せていないが随時相談している。

斉藤委員：全体計画と基本設計と実施設計が分からなければ

2段階において現状変更許可はあり得ない。

基本設計と実施設計の違いはなんですかも答えられない。

局長：通常 段階を踏んでやる。より詳細は実施設計

斉藤委員：実施設計がないと文化庁は許可を出せないのではないか。

文化庁は協議にも応じてくれないのではないか

局長：文化庁に職員が行った。

現時点ではおっしゃってられない。

どういったものを持っていけば検討してくれるのか相談中。

徐々に詰めていく。

斉藤委員：かなりスピード感を持たないといけない

それ級のものを持っていかないと

「もう少し詰めてから持ってきてね」と言われそう。

平成28年10月全体計画がかなり詰めないといけない

前代未聞もかなりある。

避難計画を外しては成り立たない。

そこが抜けていたら文化庁は許可できない。

スケジュールは当てはまらない

渡辺主幹：中身について詰めていく必要がある。

基本設計と実施設計の違いは文化庁と相談。

斉藤委員：28年10月 より精緻なもので。

コンクリートの耐用年数40年

ケーソンくしぎしの素材は何か

渡辺主幹：ケーソン使用できない場合、ケーソン一部を撤去し杭を打つ

斉藤委員：杭の素材は

渡辺主幹：コンクリート

斉藤委員：木造天守閣は何年もつと言っているか

渡辺主幹：400年もつと言っている

斉藤委員：コンクリートについては耐用年数何年か

渡辺主幹：提案書の一つ 58ページ 400年耐用年数を持つ

可能な限りの耐久性を持つコンクリート

斉藤委員：だれが証明したか

渡辺主幹：証明していない

斉藤委員：杭は400年もつのか。答えられんだろう。

麓先生「ケーソンを触る時、石垣内のコンクリートを触る時文化庁が懸念を示す可能性」

難しい工法 理解が得られないのではないかという話は聞いていたか

渡辺主幹：難しいと言われたのは石垣の話を知っている。

昭和34年触られたか調査していく。

文化庁と今後調整

斉藤委員：28年10月までに調整をしないといけない。

有識者が難しいと言っていることをやらないといけない。

そうしないと間に合わない。現状が変わっちゃう。

コンクリートをふんだんに使う計画

慎重にやっていただきたい。

最後の質問 熊本の話 志賀原発1号機活断層。

活断層について調べているのか

渡辺主幹：東北の地震、熊本地震 原発活断層は認識している。

愛知県下は様々な断層があるという情報しかない。

斉藤委員：これを見たことがあるか

渡辺主幹：見たことがない

斉藤委員：震度7の活断層 愛知県のホームページ

本市 4年前 日本活断層協会 名古屋城の西側に活断層が走っているという論文

防災局は「至急調査したい」聞いたことは

渡辺主幹：聞いたことはない

斉藤委員：確認し、対応検討してほしい

名古屋城 真横に断層が走っている

断層を調べていくのは作っていくのに重要。

石垣の耐震基準はない。

いつくるかわからない地震 文化財として重要なのは石垣。

城を支えるのはケーソン。

局長：そういう指摘を初めて聞いた。

耐震を含めて名古屋城をどう進めるか、防災局、危機管理局などまきこんで内部検討。

斉藤委員：スピード感をもってやらないと

田辺委員：4/22 最優秀提案の続き。

現段階では最優秀提案でしかない。

技術提案は始まっているのか。

渡辺主幹：契約前

田辺委員：ガラス張りは竹中が提案している。名古屋市はどうするのか。

渡辺主幹：今後調整する 予算との兼ね合い

田辺委員：精査をする中で

実施設計 われわれどうやって承認するのか。

常識からしておかしい。

所長：踏まえて検討したい

田辺委員：あわてる必要はない。9月定例会がある。

6月は基本、9月は実施。

あからさまにやってはいけないことをやっている。

最終工事費はどこで確定するのか。

渡辺主幹：最終は実施設計後の平成29年10月。

田辺委員：文化庁の許可の話 楽観的な話と

エレベータは壊す、天守閣は壊す、そのあと最終工程費用が決まる。

いくらかわからないものを我々にやれというのか。

渡辺主幹：実施設計が終わってから決まる。

田辺委員：技術提案交渉方式の怖さ。

国立競技場の話ではない。全部壊したあとに「そのお金ではできません」

それでもわれわれは「ここで止めていただくことができる」

現天守がなくなってから止めるもない。

確定は基本設計が終わったときでいいか。

渡辺主幹：文化庁に出すため、どこまで出すレベルなのか。

詳細のところ 第三者機関

田辺委員：内容決まらない、工事費決まらない

実施設計の中で決める 何のためのお金を議決をしろというのか

所長：解体工事 金額が高まるのではないかという心配

竹中は本日これ以上上がらないようにしたいと言っていた

田辺委員：ぼってくるとは思っていない。

505億を超えるかどうかではない。

事業費が確定しないままスタートするのはどうなのか

局長：天守閣本体 内容は実施設計後

505億円 基本協定の中で決める。

田辺委員：文化庁の許可 この10月に出るのか。

文化庁がいいよと言わないと始まらないでいいのか。

所長：7ページ表 全体計画の許可がないと工事が始まらない

田辺委員：文化庁の許可と実施設計の関係は

所長：文化庁の許可を得られないと実施設計はない

#### 16時50分から再開

岡田委員：入場者数 概要そのまま載せる 税金を使わないと載せるのか載せないのか

館主幹：概要版最終頁 全額入場料でまかなう

岡田委員：税金を一切使わないとかけないでいいのか

館主幹：現時点では一般会計から繰り入れるとは考えていない

岡田委員：4/22 7ページ

木造復元 文化庁の許可予定

建築基準法適用除外 どこまでが安全か

だれが安全性について責任を持つのか

渡辺主幹：提案の中身 第三者機関を経て建築審査会で同意得られるか

自主的に第三者機関に評価・審査していただく

岡田委員：適用除外 特定行政庁の審査会の同意を得るものではないのか

渡辺主幹：第三者における内容審査 どう同意を得るか

岡田委員：集客施設が建築基準法適用除外 基準はあるのか

渡辺主幹：我々が確認を取っていく

岡田委員：事故や火災が起こった場合、名古屋市が責任を負うのか

渡辺主幹：何が原因なのか 警察などが分析する

岡田委員：史実に忠実であればある程エレベータはつけられない。

避難経路も特別。

藤沢委員：公報なごや 6月1-10日 特集号

決まっていない中 アンケート取りまとめした後何を配るのか

主幹館：概要版をベースに載せる

藤沢委員：6月議会 適宜公報なごやを配るのか

主幹館：予算は1回しか計上していない 今後あれば補正予算

藤沢委員：随時特集号を出していくのか

主幹館：方向性が決まって出すと決まればそうだが、現段階では決まっていない。

藤沢委員：2万人アンケート取りまとめ

引き継ぎ事項 事前調査 折に触れて所管事務調査をしてほしい